

# USJC 関西ビジネスフォーラム: “Furthering Kansai-US Business Ties”

## WHEN

October 10, 2019, 18:30-20:30 (Doors open at 18:00)

## WHERE

ヒルトン大阪、4F 金の間

日米関係の強化、人と人とのネットワーク構築に取り組む米日カウンシルは、この度関西のビジネス、行政、学術、非営利など幅広い分野でご活躍の皆様をお招きする「USJC 関西ビジネスフォーラム」を開催します。本フォーラムでは、関西経済の2025年およびその先を展望し、関西と米国のビジネス連携の更なる進展について議論します。

駐大阪・神戸米国総領事館 かれん・ケリー総領事による特別講演では、関西ビジネス界と米国との経済・貿易関係の強化の取組みについて、著名エコノミストのロバート・フェルドマン氏の特別講演およびパネリストとのディスカッションでは、世界・日本・関西経済を俯瞰し、関西と米国のビジネス連携の実績とこれからの可能性について議論していただきます。皆様奮ってご参加ください。

参加費無料。日英同時通訳有り。

## ■プログラム

18:30 - 19:45 特別講演およびパネルディスカッション

19:45 - 20:30 ネットワーキングブッフエ

## ■ご参加登録

こちらのリンクからご登録ください。 [bit.ly/USJCforum](https://bit.ly/USJCforum)

ご質問は、公益財団法人 米日カウンシルージャパン 高橋みき(03-4510-3400 / [mtakahashi@usjapanCouncil.org](mailto:mtakahashi@usjapanCouncil.org))までお気軽にお問い合わせください。

## ■ご登壇者

### 特別講演およびパネル

ロバート・アラン・フェルドマン Ph.D.

モルガン・スタンレーMUFG証券

シニアアドバイザー

1998年2月、チーフエコノミストとしてモルガン・スタンレー証券会社（現：モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社）に入社。日本経済の見通しや金融市場動向及び政策動向の予測を行うとともに、テレビ番組出演※や雑誌寄稿、講演などの対外活動にも積極的。

1990～97年、ソロモン・ブラザーズ・アジア証券で首席エコノミストを務める。1983～89年、国際通貨基金（IMF）のアジア部、欧州部、調査部に勤務。

マサチューセッツ工科大学で経済学博士号、イエール大学で経済学／日本研究の学士号を取得した。卒業後、ニューヨーク連邦準備銀行、およびチェース・マンハッタン銀行に勤務。

1970年、米国からAFS交換留学生として初来日、名古屋で1年間過ごした後、野村総合研究所（1973～74年）および日本銀行（1981～82年）で研究業務に従事。

2017年4月より東京理科大にて教鞭を執る。

※2000年より「ワールドビジネスサテライト」（テレビ東京系列）にコメンテーターとして出演中

書籍：

「Japanese Financial Markets : Deficits, Dilemmas, and Deregulation」（MITプレス、1986年）

「日本の衰弱」（東洋経済新報社、1996年）

「日本の再起」（東洋経済新報社、2001年）

「構造改革の先を読む」（東洋経済新報社、2005年）

「一流アナリストの7つ道具」（プレジデント社、2008年）

「Public Debts: Nuts, Bolts and Worries」（Barry Eichengreen 他 共著、CEPR、2011年）

「日本経済 起死回生のストーリー」（財部誠一 共著、PHP ビジネス新書、2011年）

「フェルドマン式 知的生産術」（プレジデント社、2012年）

「フェルドマン博士の日本経済最新講義」（文藝春秋、2015年）

他に「戦前の日本の経済成長」（中村隆英、イエール大学出版）など4冊の訳著（日英）も手掛ける。

## 特別講演

かれん・ケリー

駐大阪・神戸米国総領事

かれん・ケリーは、アジア・太平洋地域およびアフリカでの勤務経歴を持つ上級外交官である。2017年8月より、駐大阪・神戸米国総領事に着任する。直近の勤務地は在ジンバブエ米国大使館で、2013年8月から2016年6月まで広報担当公使、2016年7月から11月までは首席公使代行をそれぞれ務めた。2008年8月から2009年7月まで国務省日本副部長および日本部長代行を、2005年から2008年までは、ハワイ州H・M・スミス基地内にある米国太平洋軍司令部で広報・文化交流アドバイザーを務めた。また、在カメルーン米国大使館、在フィリピン米国大使館、在日米国大使館で報道官も務めた。日本での勤務経験としては他にも、駐大阪・神戸および在沖縄米国総領事館で広報・文化交流を担当した。

## パネル

関 総一郎

公益社団法人関西経済連合会 専務理事

1983年	4月	通商産業省	入省
2001年	1月	経済産業省	産業技術環境局 地球環境対策室長
2003年	5月	外務省	欧州連合日本政府代表部 参事官
2006年	7月	経済産業省	商務情報政策局 サービス政策課長
2007年	7月	内閣府	参事官
2009年	8月	経済産業省	大臣官房参事官
2011年	4月	同	大臣官房審議官
2012年	8月	総務省	情報通信国際戦略局次長
2014年	7月	経済産業省	近畿経済産業局長
2016年	7月		退官
2016年	11月	住友電気工業株式会社	顧問
2017年	2月	同	執行役員 支配人
2017年	5月	同	執行役員
		公益社団法人関西経済連合会	専務理事

## パネル

萬タシャ

米日カウンシル 理事会役員

Yorozu 法律事務所 代表弁護士

萬（よろず）タシャ弁護士は、サンフランシスコに拠点を置く法律事務所、Yorozu Law Group の代表弁護士であり、商取引、税務戦略、M&A、戦略的業務提携及びテクノロジー・ライセンス、雇用法を専門としている。過去 20 年以上にわたり、萬氏は日本企業とその米国子会社やベンチャー企業の法律顧問を務めるとともに、米国企業の社内弁護士の依頼を受け、日本企業との取引交渉を代行することも良くある。現在、米日カウンシル理事、北加日本商工会議所常任理事、サンフランシスコ・大阪姉妹都市協会理事を務めるほか、アライアンス・フォーラム・ファンデーション・エクゼクティブ勉強会のメンバーでもある。また、ジェトロ・サンフランシスコ事務所の中小企業海外展開現地支援プラットフォーム・コーディネーターも務める。ブリンモア大学学士号（BA 経済学）、ウィラメット大学経営学修士号（MBA）及び法学博士号（JD）を取得。オレゴン州生まれの京都・滋賀育ち。日英に堪能。

## 挨拶

ローヤン・K・ドイ

公益財団法人 米日カウンシルージャパン 代表理事

ヤマハ株式会社 経営本部 法務部 Global Legal, Ethics & Compliance Adviser

ヤマハ株式会社の国際法務・倫理・コンプライアンスアドバイザー。コーポレート・ガバナンス・スペシャリストとして、最高法務責任者、最高倫理責任者、最高コンプライアンス責任者、コーポレート・セクレタリー・チームの最高責任者、政府業務地域担当責任者を務めてきた。生命保険及び損害保険、金融、資産管理、証券、建設など様々な業界で実務経験を持つ。国際倫理責任者としての在職中、同氏の企業は 2015 年に初めてエシスフィア・インスティテューートの「世界で最も倫理的な企業」の一つに選出され、その後も、幾度も選出された。

ミズーリ州セントルイスのワシントン大学をマグナ・クム・ラウデ、ファイ・ベータ・カッパで卒業し、哲学の学位を取得。UCLA 法科大学院にて法学博士号を取得し、カリフォルニア州弁護士協会に所属。日本には 1994 年より在住し、女性の経済的なエンパワーメント、行動倫理と神経科学に関する研究、生涯学習という 3 つの情熱を抱いている。